



# リリースノート

## Setup and administration

NetApp  
April 26, 2024

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/blueexp-setup-admin/whats-new.html> on April 26, 2024. Always check [docs.netapp.com](https://docs.netapp.com) for the latest.

# 目次

- リリースノート ..... 1
  - 新機能 ..... 1
  - 既知の制限 ..... 26

# リリースノート

## 新機能

BlueXPの管理機能の新機能（BlueXPアカウント、コネクタ、クラウドプロバイダのクレデンシャルなど）をご確認ください。

**2024年4月22日**

### コネクタ3.9.39

今回のリリースのBlueXP Connectorには、セキュリティが若干改善され、バグが修正されています。

現時点では、3.9.39リリースは標準モードと制限モードで使用できます。

#### コネクタを作成するためのAWS権限

BlueXPからAWSでコネクタを作成するには、さらに2つの権限が必要になりました。

```
"ec2:DescribeLaunchTemplates",  
"ec2:CreateLaunchTemplate",
```

これらの権限は、コネクタのEC2インスタンスでIMDSv2を有効にするために必要です。

これらの権限は、コネクタの作成時にBlueXPユーザインターフェイスに表示されるポリシーと、ドキュメントで提供されているポリシーに含まれています。



このポリシーには、BlueXPからAWSでConnectorインスタンスを起動するために必要な権限のみが含まれています。コネクタインスタンスに割り当てられるポリシーとは異なります。

["AWSからコネクタを作成するためのAWS権限を設定する方法"](#)。

**2024年4月11日**

### Docker Engineの更新

Docker Engineの要件を更新して、コネクタでサポートされる最大バージョン（25.0.5）を指定しました。サポートされる最小バージョンは引き続き19.3.1です。

["コネクタホスト要件の表示"](#)。

**2024年3月26日**

### プライベートモードリリース（3.9.38）

BlueXPで新しいプライベートモードリリースが見積もり可能になりました。このリリースには、プライベ

トモードでサポートされる次のバージョンのBlueXPサービスが含まれています。

サービス	含まれるバージョン
コネクタ	3.9.38
バックアップとリカバリ	2024年3月12日
分類	2024年3月4日
Cloud Volumes ONTAP管理	2024年3月8日
デジタルウォレット	2023年7月30日
オンプレミスのONTAPクラスタ管理	2023年7月30日
レプリケーション	2022年9月18日

この新しいリリースは、NetApp Support Siteからダウンロードできます。

- ["プライベートモードの詳細"](#)
- ["BlueXPのプライベートモードでの利用を開始する方法"](#)
- ["プライベートモードの使用時にコネクタをアップグレードする方法について説明します。"](#)

## 2024年3月8日

### コネクタ3.9.38

現時点では、3.9.38リリースは標準モードと制限モードで使用できます。このリリースでは、AWSでのIMDSv2とAWS権限の更新がサポートされます。

#### IMDSv2のサポート

BlueXPで、コネクタインスタンスとCloud Volumes ONTAPインスタンスでAmazon EC2インスタンスメタデータサービスバージョン2（IMDSv2）がサポートされるようになりました。IMDSv2では、脆弱性に対する保護が強化されています。以前はIMDSv1のみがサポートされていました。

#### ["AWSセキュリティブログでIMDSv2の詳細を確認する"](#)

インスタンスメタデータサービス（IMDS）は、EC2インスタンスで次のように有効になります。

- BlueXPから新規コネクタを導入する場合、または ["Terraformスクリプト"](#) IMDSv2はEC2インスタンスでデフォルトで有効になっています。
- AWSで新しいEC2インスタンスを起動し、コネクタソフトウェアを手動でインストールすると、IMDSv2もデフォルトで有効になります。
- AWS Marketplaceからコネクタを起動すると、IMDSv1がデフォルトで有効になります。EC2インスタンスにIMDSv2を手動で設定できます。
- 既存のコネクタについては、IMDSv1は引き続きサポートされますが、必要に応じて、EC2インスタンスでIMDSv2を手動で設定できます。
- Cloud Volumes ONTAPでは、新規および既存のインスタンスでIMDSv1がデフォルトで有効になっています。必要に応じて、EC2インスタンスでIMDSv2を手動で設定できます。

"既存のインスタンスでIMDSv2を設定する方法"。

#### AWS権限の更新

AWSのコネクタポリシーを更新して、「EC2:DescriptionAvailabilityZones」権限を追加しました。この権限は、今後のリリースで必要になります。リリースノートの詳細については、リリースノートを更新します。

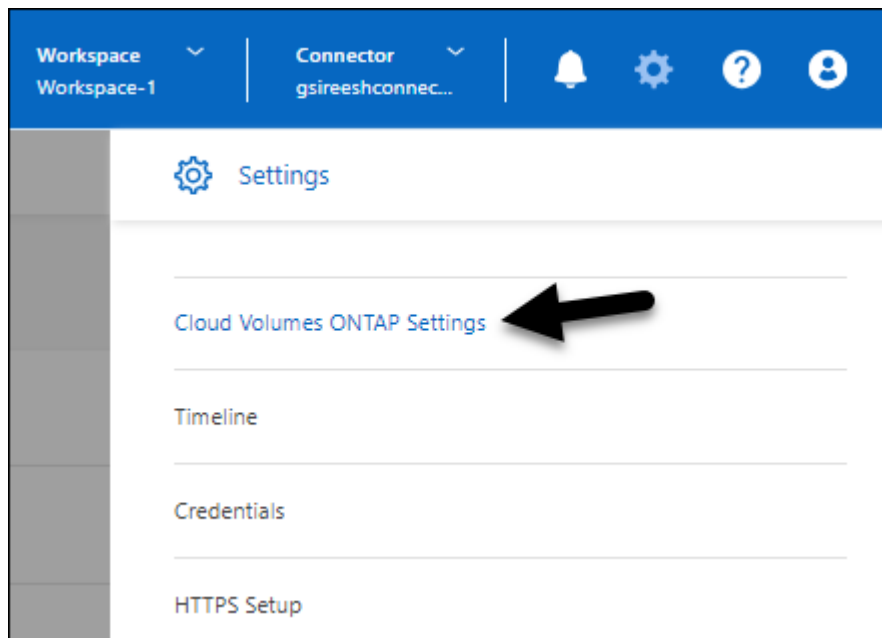
"コネクタのAWS権限を表示する"。

#### プロキシ設定とCloud Volumes ONTAP設定

コネクタのプロキシサーバー設定は、\*コネクタの管理\*ページ（標準モード）または\*コネクタの編集\*ページ（制限モードおよびプライベートモード）から利用できるようになりました。

"プロキシサーバを使用するようにコネクタを設定する方法について説明します。"。

また、コネクタ設定\*ページの名前を Cloud Volumes ONTAP設定\*に変更しました。



メニューから使用できるCloud Volumes ONTAP Settings]オプションを示すスクリーンショット。"]

**2024年2月15日**

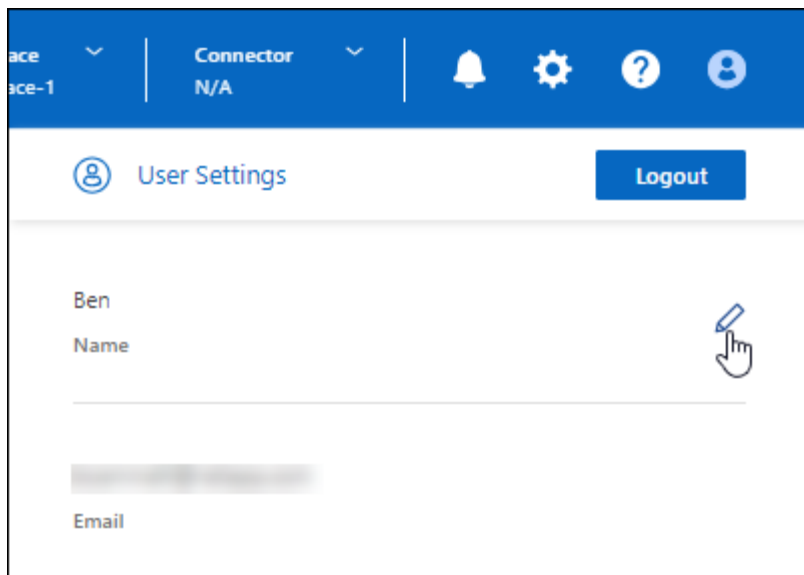
#### コネクタ3.9.37

今回のリリースのBlueXP Connectorには、セキュリティが若干改善され、バグが修正されています。

現時点では、3.9.37リリースは標準モードと制限モードで使用できます。

#### 名前の編集

NetAppのクラウドクレデンシャルを使用してBlueXPにログインすると、\*[ユーザ設定]\*で名前を編集できるようになりました。



で名前を編集する機能を示すスクリーンショット。"]

フェデレーテッド接続またはNetApp Support Siteアカウントでログインした場合、名前の編集はサポートされません。

## 2024年1月11日

### コネクタ3.9.36

このリリースには、以下のクラウドリージョンでマイナーな改善、バグ修正、コネクタのサポートが含まれています。

- AWSのイスラエル（テルアビブ）リージョン
- Google Cloudのサウジアラビアリージョン

## 2023年12月5日

### プライベートモードリリース（3.9.35）

BlueXPで新しいプライベートモードリリースが見積もり可能になりました。このリリースには、コネクタのバージョン3.9.35と、2023年10月時点でプライベートモードでサポートされるBlueXPサービスのバージョンが含まれています。

この新しいリリースは、NetApp Support Siteからダウンロードできます。

- ["プライベートモードに含まれるBlueXPサービスの詳細"](#)
- ["BlueXPのプライベートモードでの利用を開始する方法"](#)
- ["プライベートモードの使用時にコネクタをアップグレードする方法について説明します。"](#)

## 2023年11月8日

### コネクタ3.9.35

このリリースには、セキュリティのマイナーな改善とバグの修正が含まれています。

**2023年10月6日**

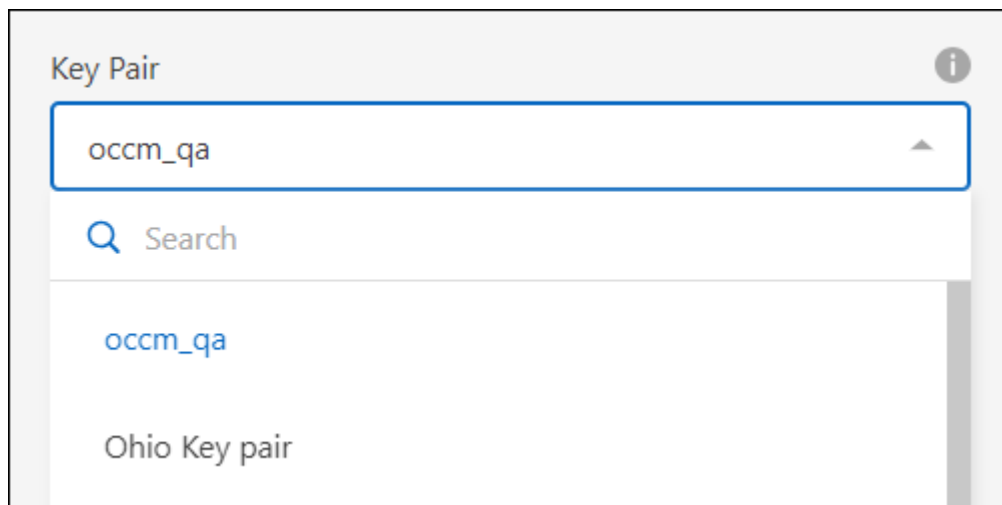
### コネクタ3.9.34

このリリースには、マイナーな改善とバグ修正が含まれています。

**2023年9月10日**

### コネクタ3.9.33

- BlueXPからAWSでコネクタを作成するときに、[Key Pair]フィールド内を検索して、コネクタインスタンスで使用するキーペアを簡単に見つけることができるようになりました。



ページに表示される[Key Pair]フィールドの検索オプションのスクリーンショット。"]

- このアップデートにはバグ修正も含まれています。

**2023年7月30日**

### コネクタ3.9.32

- BlueXP監査サービスAPIを使用して監査ログをエクスポートできるようになりました。

監査サービスには、BlueXPサービスで実行された処理に関する情報が記録されます。これには、ワークスペース、使用されているコネクタ、およびその他のテレメトリデータが含まれます。このデータを使用して、実行されたアクション、実行者、実行日時を確認できます。

["監査サービスAPIの使用に関する詳細情報"](#)

このリンクには、BlueXPのユーザインターフェ이스の[Timeline]ページからもアクセスできます。

- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張とオンプレミスONTAP クラスタの機能拡張も含まれています。

- ["Cloud Volumes ONTAP の機能拡張について説明します"](#)
- ["ONTAP オンプレミスクラスタの機能拡張について説明します"](#)

**2023年7月2日**

### コネクタ3.9.31

- [My estate]タブ（以前の[My Opportunities]）でオンプレミスのONTAPクラスタを検出できるようになりました。

["クラスタを検出する方法については、\[My estate\]ページを参照してください"](#)。

- Azure Governmentリージョンでコネクタを使用している場合は、コネクタが次のエンドポイントに接続できることを確認する必要があります。

<https://occmclientinfragov.azurecr.us>

このエンドポイントは、コネクタを手動でインストールし、コネクタとそのDockerコンポーネントをアップグレードするために必要です。

この変更により、Azure Governmentリージョン内のコネクタは、次のエンドポイントに接続しなくなりました。

<https://cloudmanagerinfraproduct.azurecr.io>

このエンドポイントは、他のすべての制限モード設定および標準モードでは引き続き必要であることに注意してください。

**2023年6月4日**

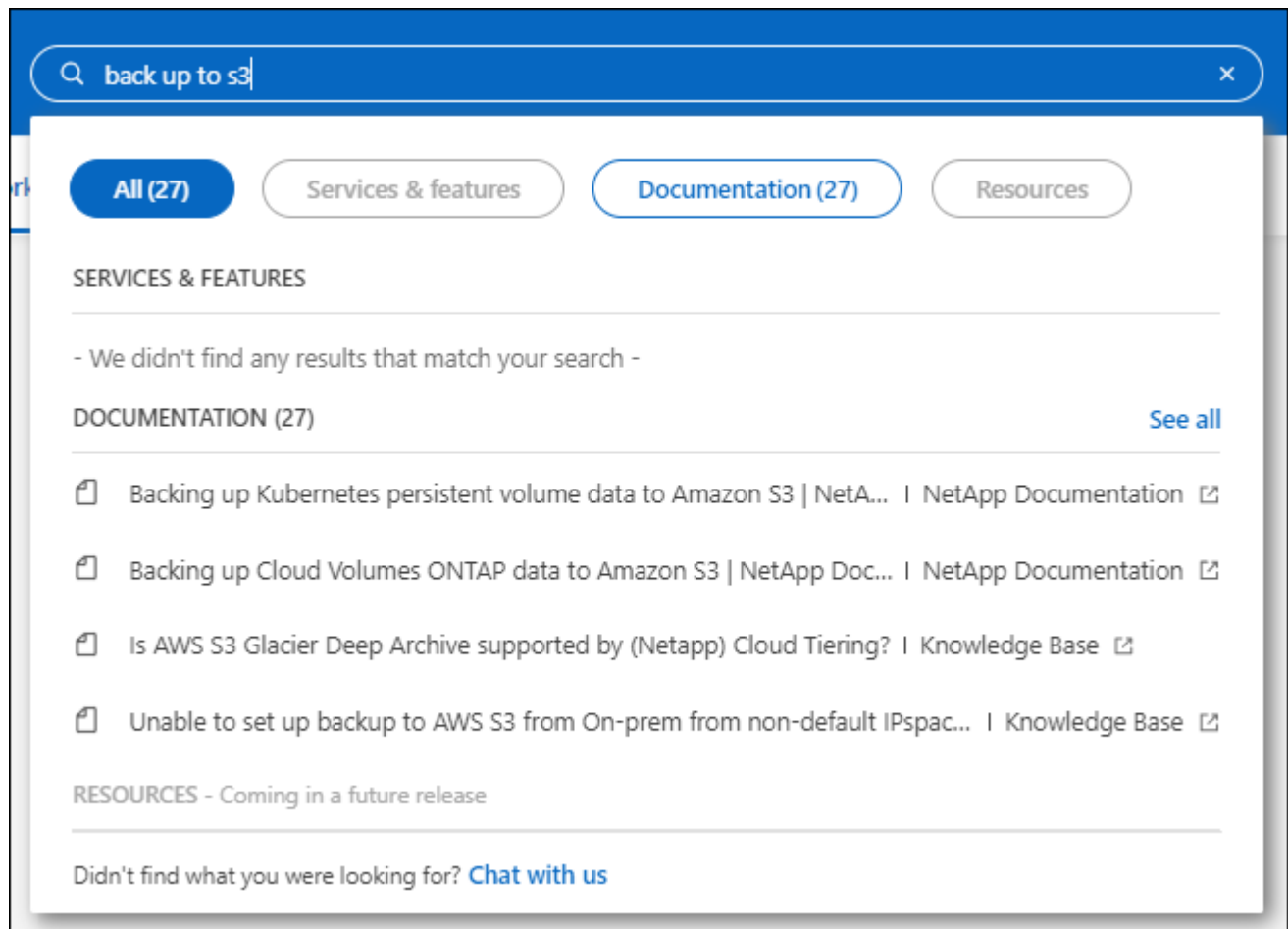
### コネクタ3.9.30

- サポートダッシュボードからNetAppサポートケースをオープンすると、BlueXPログインに関連付けられたNetApp Support Siteアカウントを使用してケースがオープンされるようになりました。以前は、BlueXPアカウント全体に関連付けられたNetApp Support Siteアカウントを使用していました。

この変更に伴い、BlueXPアカウントのサポート登録は、ユーザのBlueXPログインに関連付けられたNetApp Support Siteアカウントを使用して行われるようになりました。これまで、サポートの登録には、BlueXPアカウント全体に関連付けられたNSSアカウントを使用していました。そのため、BlueXPへのログインにNetApp Support Siteアカウントが関連付けられていない場合、他のBlueXPユーザには同じサポート登録ステータスが表示されません。以前にBlueXPアカウントをサポートに登録していても、登録ステータスは引き続き有効です。ステータスを確認するには、ユーザレベルのNSSアカウントを追加するだけです。

- ["NetAppサポートでケースを作成する方法について説明します"](#)
- ["BlueXPログインに関連付けられているクレデンシャルの管理方法について説明します"](#)
- ["サポートに登録する方法について説明します"](#)
- BlueXPからドキュメントを検索できるようになりました。検索結果に、docs.netapp.comおよびkb.netapp.comのコンテンツへのリンクが表示されるようになりました。これは、質問を回答に送信するのに役立つ可能性があります。





- コネクタを使用して、BlueXPからAzureストレージアカウントを追加および管理できるようになりました。

"BlueXPからAzureサブスクリプションに新しいAzureストレージアカウントを追加する方法をご確認ください"。

- このコネクタが次のAWSリージョンでサポートされるようになりました。
  - ハイデラバード (AP-south-2)
  - メルボルン (AP南東-4)
  - スペイン (EU-south-2)
  - アラブ首長国連邦 (ME-CENTRAL-1)
  - チューリッヒ (EU-CENTRAL-2)
- このコネクタは、次のAzureリージョンでサポートされるようになりました。
  - ブラジル南部
  - フランス南部
  - インド中部出身
  - 西インド諸島出身
  - ポーランド中部

- カタール中部
- Connectorは、次のGoogle Cloudリージョンでサポートされるようになりました。
  - コロンバス (us-east5)
  - ダラス (US -サウス1)

["サポートされているリージョンの完全なリストを表示します"](#)

## 2023年5月7日

### コネクタ3.9.29

- Ubuntu 22.04は、BlueXPまたはクラウドプロバイダのマーケットプレイスからコネクタを導入する際のコネクタ用の新しいオペレーティングシステムです。

また、Ubuntu 22.04を実行している独自のLinuxホストにコネクタを手動でインストールすることもできます。

- Red Hat Enterprise Linux 8.6および8.7は、新しいコネクタの導入ではサポートされなくなりました。

Red Hatではコネクタに必要なDockerがサポートされなくなるため、新しい環境ではこれらのバージョンはサポートされません。RHEL 8.6または8.7で既存のコネクタを実行している場合、ネットアップは引き続きこの構成をサポートします。

Red Hat 7.6、7.7、7.8、および7.9は、新規および既存のコネクタで引き続きサポートされます。

- コネクタは現在、Google Cloudのカタール地域でサポートされています。
- このコネクタは、Microsoft AzureのSweden Centralリージョンでもサポートされています。

["サポートされているリージョンの完全なリストを表示します"](#)

- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張が含まれています。

["Cloud Volumes ONTAP の機能拡張について説明します"](#)

## 2023年4月4日

### 展開モード

BlueXP\_deployment modes\_を使用すると、ビジネス要件やセキュリティ要件に合わせてBlueXPを使用できます。次の3つのモードから選択できます。

- 標準モード
- 制限モード
- プライベートモード

["これらの展開モードの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。



制限モードが導入されたことで、SaaSプラットフォームを有効または無効にするオプションが廃止されました。制限モードはアカウント作成時に有効にすることができます。後で有効または無効にすることはできません。

## 2023年4月3日

### コネクタ3.9.28

- Eメール通知がBlueXPデジタルウォレットでサポートされるようになりました。

通知を設定すると、BYOLライセンスの有効期限が近づいたとき（「警告」通知）、またはすでに有効期限が切れているとき（「エラー」通知）にEメール通知を受け取ることができます。

["Eメール通知の設定方法については、こちらをご覧ください"](#)。

- Google Cloud Turinリージョンでコネクタがサポートされるようになりました。

["サポートされているリージョンの完全なリストを表示します"](#)

- BlueXPログインに関連付けられたユーザクREDENTIAL（ONTAP クREDENTIALとNetApp Support Site（NSS）クREDENTIAL）を管理できるようになりました。

[設定]>[クREDENTIAL]\*に移動すると、クREDENTIALを表示したり、更新したり、削除したりできます。たとえば、これらのクREDENTIALのパスワードを変更した場合は、BlueXPでパスワードを更新する必要があります。

["ユーザクREDENTIALの管理方法について説明します"](#)。

- サポートケースを作成するとき、または既存のサポートケースのケースノートを更新するときに、添付ファイルをアップロードできるようになりました。

["サポートケースを作成および管理する方法について説明します"](#)。

- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張とオンプレミスONTAP クラスタの機能拡張も含まれています。

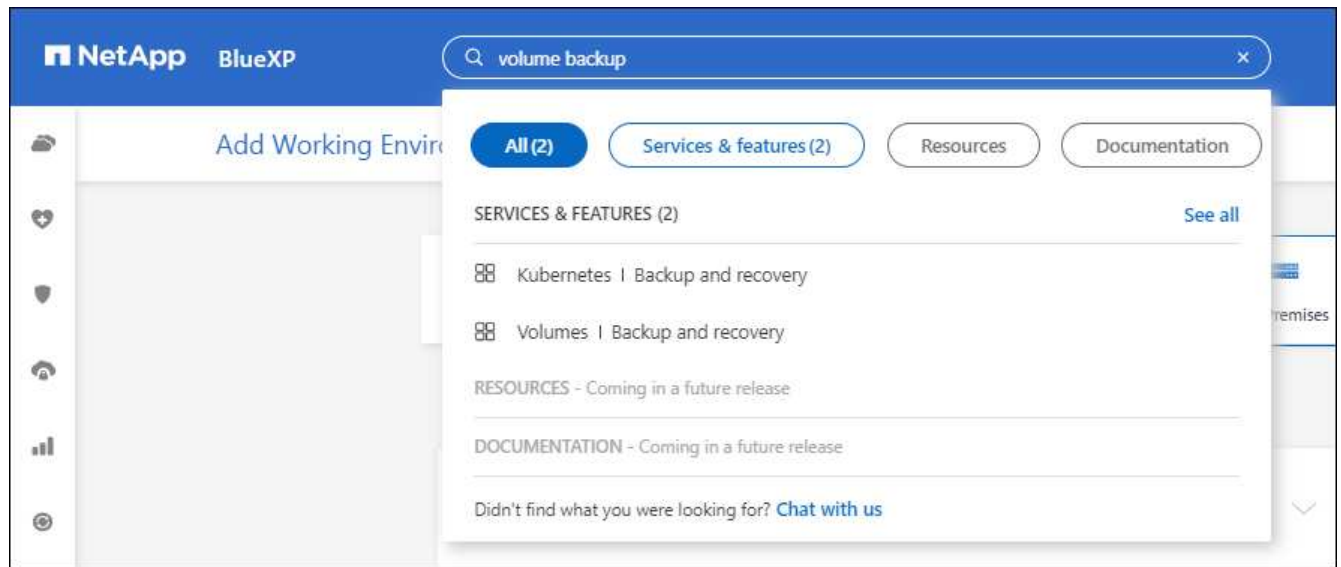
- ["Cloud Volumes ONTAP の機能拡張について説明します"](#)

- ["ONTAP オンプレミスクラスタの機能拡張について説明します"](#)

## 2023年3月5日

### コネクタ3.9.27

- BlueXPコンソールで検索できるようになりました。この時点で、検索機能を使用してBlueXPのサービスと機能を検索できます。



- アクティブなサポートケースと解決済みのサポートケースは、BlueXPから直接表示および管理できます。NSSアカウントと会社に関連付けられたケースを管理できます。

["サポートケースの管理方法について説明します"](#)。

- このコネクタは、インターネットから完全に分離されたクラウド環境でサポートされるようになりました。その後、コネクタで実行されているBlueXPコンソールを使用して、同じ場所にCloud Volumes ONTAPを導入し、オンプレミスのONTAP クラスタを検出できます（クラウド環境からオンプレミス環境に接続されている場合）。BlueXPのバックアップとリカバリを使用して、AWSとAzureのコマーシャルリージョンのCloud Volumes ONTAP ボリュームをバックアップすることもできます。このタイプの環境では、BlueXPデジタルウォレットを除き、他のBlueXPサービスはサポートされません。

クラウドリージョンは、AWS Top Secret Cloud、AWS Secret Cloud、Azure IL6、または任意の商用リージョンのような米国の安全な機関のリージョンにすることができます。

開始するには、コネクタソフトウェアを手動でインストールし、コネクタで実行されているBlueXPコンソールにログインし、BlueXPデジタルウォレットにBYOLライセンスを追加してから、Cloud Volumes ONTAPを導入します。

- ["インターネットにアクセスできない場所にコネクタを取り付けます"](#)
  - ["コネクタのBlueXPコンソールにアクセスします"](#)
  - ["未割り当てライセンスを追加します"](#)
  - ["Cloud Volumes ONTAP の使用を開始します"](#)
- このコネクタで、BlueXPからAmazon S3バケットを追加および管理できるようになりました。

["BlueXPからAWSアカウントに新しいAmazon S3バケットを追加する方法をご確認ください"](#)。

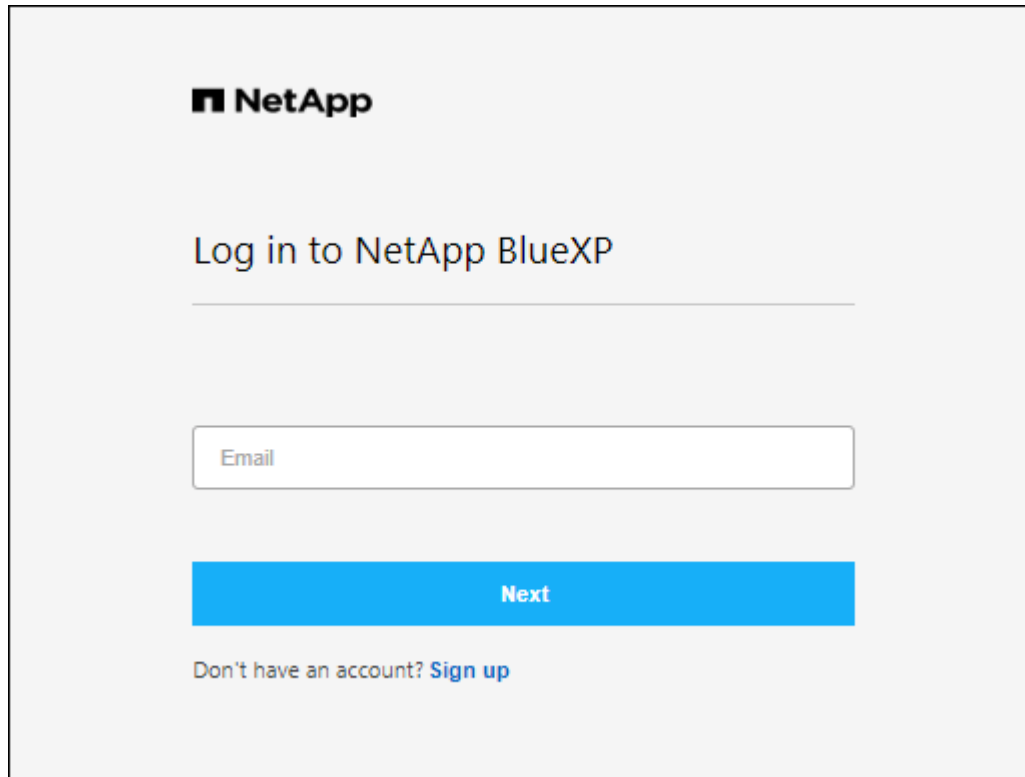
- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張が含まれています。

["Cloud Volumes ONTAP の機能拡張について説明します"](#)

2023年2月5日

### コネクタ3.9.26

- ログイン\*ページで、ログインに関連付けられたメールアドレスを入力するように求められます。[次へ]\*を選択すると、ログインに関連付けられている認証方式を使用して認証するよう求められます。
  - ネットアップクラウドクレデンシャルのパスワード
  - フェデレーテッドアイデンティティのクレデンシャル
  - NetApp Support Site クレデンシャルが必要です

A screenshot of the NetApp BlueXP login page. At the top left is the NetApp logo. Below it, the text "Log in to NetApp BlueXP" is displayed. Underneath is a horizontal line, followed by an input field labeled "Email". Below the input field is a blue button labeled "Next". At the bottom, there is a link that says "Don't have an account? Sign up".

**NetApp**

Log in to NetApp BlueXP

Email

Next

Don't have an account? [Sign up](#)

- BlueXPを初めて使用していて、既存のNetApp Support Site (NSS)の資格情報がある場合は、サインアップページをスキップして、ログインページに電子メールアドレスを直接入力できます。この初回ログインの一環として、BlueXPがサインアップします。
- クラウドプロバイダのマーケットプレイスからBlueXPに登録すると、1つのアカウントの既存のサブスクリプションを新しいサブスクリプションに置き換えることができます。

Subscription Assignment

✓ Your subscription to BlueXP / Cloud Volumes ONTAP from the AWS Marketplace was created successfully.

Subscription name ⓘ

QAAccount\_Sub2Test-PAYGOByTheHourByCapacity

Select the NetApp accounts that you'd like to associate this subscription with. ⓘ

You can automatically replace the existing subscription for one account with this new subscription.

Netapp account	Replace existing subscription
<input checked="" type="checkbox"/> MyAccount	<input checked="" type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> Netapp-Kobi	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> KeystoneTest01	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/> MyAccount	<input type="checkbox"/>

Save

- ["AWSサブスクリプションを関連付ける方法について説明します"](#)
- ["Azureサブスクリプションを関連付ける方法について説明します"](#)
- ["Google Cloudサブスクリプションを関連付ける方法について説明します"](#)
- BlueXPは、コネクタの電源が14日以上切れている場合に通知します。
  - ["BlueXP通知についてはこちらをご覧ください"](#)
  - ["コネクタの動作を維持する理由について説明します"](#)
- Google Cloudのコネクタポリシーを更新し、Cloud Volumes ONTAP HAペアでStorage VMを作成および管理するために必要な権限を追加しました。

compute.instances.updateNetworkInterface

["ConnectorのGoogle Cloud権限を表示します"](#)。

- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張が含まれています。

["Cloud Volumes ONTAP の機能拡張について説明します"](#)

## 2023年1月1日

### コネクタ3.9.25

このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張とバグ修正が含まれています。

["Cloud Volumes ONTAP の機能拡張について説明します"](#)

## 2022年12月4日

### コネクタ3.9.24

- BlueXPコンソールのURLがに更新されました <https://console.bluexp.netapp.com>
- ConnectorはGoogle Cloudイスラエル地域でサポートされるようになりました。
- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張とオンプレミスONTAP クラスタの機能拡張も含まれています。
  - ["Cloud Volumes ONTAP の機能拡張について説明します"](#)
  - ["ONTAP オンプレミスクラスタの機能拡張について説明します"](#)

## 2022年11月6日

### コネクタ3.9.23

- BlueXPのPAYGOサブスクリプションと年間契約が、デジタルウォレットで表示、管理できるようになりました。

["サブスクリプションの管理方法について説明します"](#)

- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張も含まれています。

["Cloud Volumes ONTAP の機能拡張について説明します"](#)

## 2022年11月1日

### BlueXPの導入

NetApp BlueXPは、Cloud Managerを通じて提供される機能を拡張、強化します。BlueXPは、オンプレミス環境とクラウド環境のストレージとデータサービスにハイブリッドマルチクラウド環境を提供する統合コントロールプレーンです。

### 統合された管理エクスペリエンス

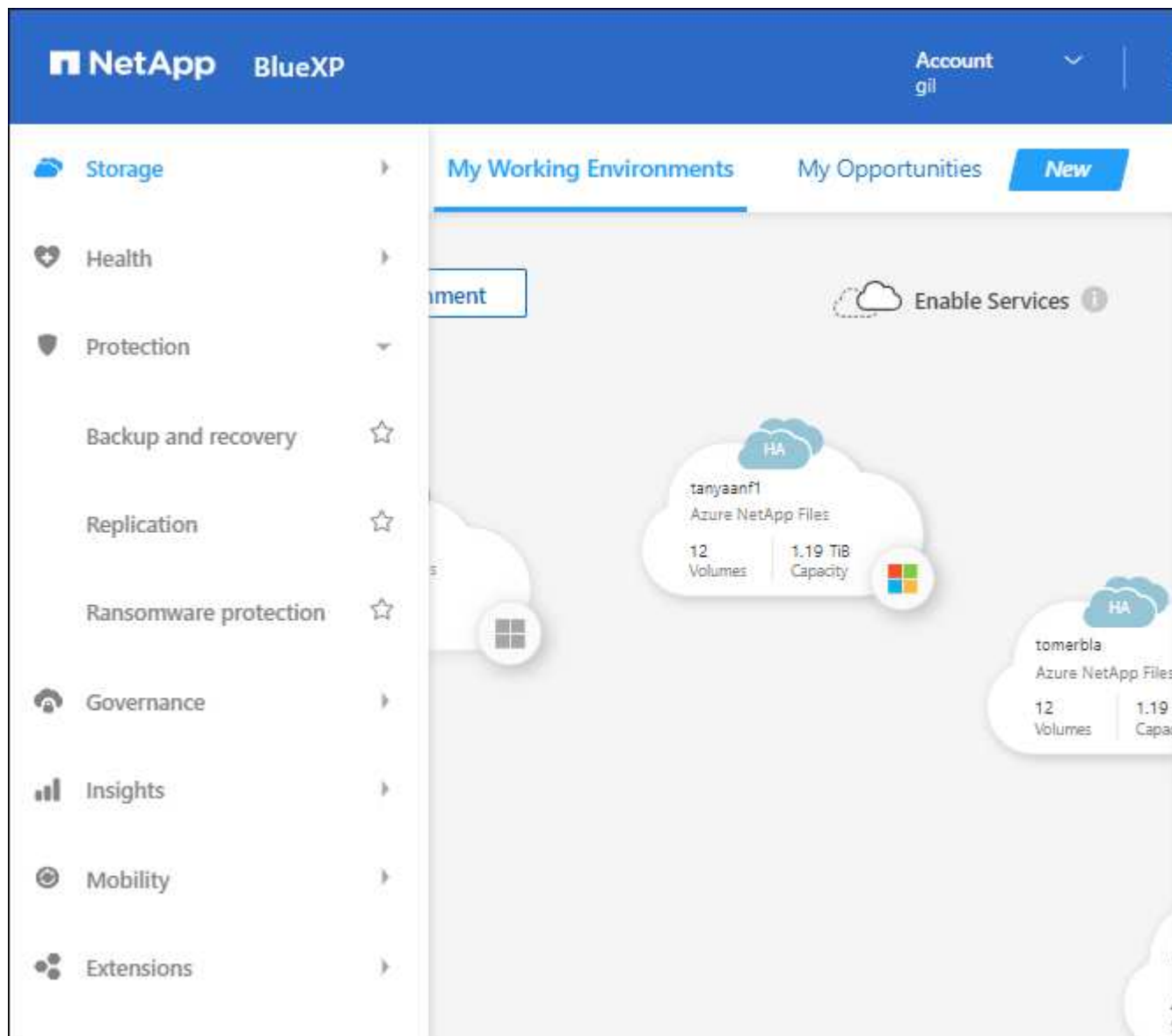
BlueXPを使用すると'すべてのストレージおよびデータ資産を1つのインターフェースから管理できます

BlueXPを使用して、クラウドストレージ（Cloud Volumes ONTAP やAzure NetApp Files など）の作成と管理、データの移動、保護、分析、オンプレミスやエッジの多くのストレージデバイスの管理を行うことができます。

"詳細については、BlueXPのWebサイトをご覧ください"

### 新しいナビゲーションメニュー

BlueXPのナビゲーションメニューでは、サービスがカテゴリ別に分類され、機能に応じてサービスの名前が付けられます。たとえば、BlueXPのバックアップとリカバリには\*[保護]\*カテゴリからアクセスできます。



### 新しい製品統合

- コネクタがインストールされているAWSアカウントでAmazon S3バケットを管理できるようになりました。
- EシリーズやStorageGRID など、オンプレミスのストレージシステムをさらに管理できるようになりました。
- これまでスタンドアロンサービスとしてしか提供されていなかったデータサービスを、別のUIで使用



できるようになりました。たとえば、BlueXP Digital Advisor（Active IQ）などです。

詳細はこちら。

- ["Amazon S3バケットを管理する"](#)
- ["Eシリーズストレージシステムを管理"](#)
- ["StorageGRID ストレージシステムを管理します"](#)
- ["Digital Advisorの統合について"](#)

## NSSクレデンシャルの更新を求めるプロンプト

アカウントに関連付けられた更新トークンが3カ月後に期限切れになると、Cloud ManagerはNetApp Support Site アカウントに関連付けられたクレデンシャルの更新を求めます。 ["NSS アカウントを管理する方法について説明します"](#)

## 2022年9月18日

### コネクタ3.9.22

- Connectorのインストールウィザードを強化しました。このウィザードには、Connectorのインストールに関する最小要件（権限、認証、ネットワーク）を満たすための手順が記載されています。
- ネットアップサポートケースをCloud Managerのサポートダッシュボードで直接作成できるようになりました。

["ケースを作成する方法について説明します"](#)。

- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張も含まれています。

["Cloud Volumes ONTAP の機能拡張について説明します"](#)

## 2022年7月31日

### コネクタ3.9.21

- Cloud Managerでまだ管理していない既存のクラウドリソースを検出する新しい方法が導入されました。

Canvasでは、\* My Opportunities \*タブを使用して、ハイブリッドマルチクラウド全体で一貫したデータサービスと運用を実現するために、Cloud Managerに追加できる既存のリソースを一元的に検出できます。

この初回リリースでは、My Opportunitiesを使用して、AWSアカウント内のONTAP ファイルシステム用の既存のFSXを検出できます。

["ONTAP のFSXを発見する方法については、こちらをご覧ください"](#)

- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張も含まれています。

["Cloud Volumes ONTAP の機能拡張について説明します"](#)

2022年7月15日

## ポリシーの変更

ドキュメントを更新するには、Cloud Managerのポリシーをドキュメント内に直接追加します。これにより、コネクタとCloud Volumes ONTAPに必要な権限を、設定方法を説明する手順とともに表示できるようになりました。これらのポリシーには、NetApp Support Siteのページからアクセスできます。

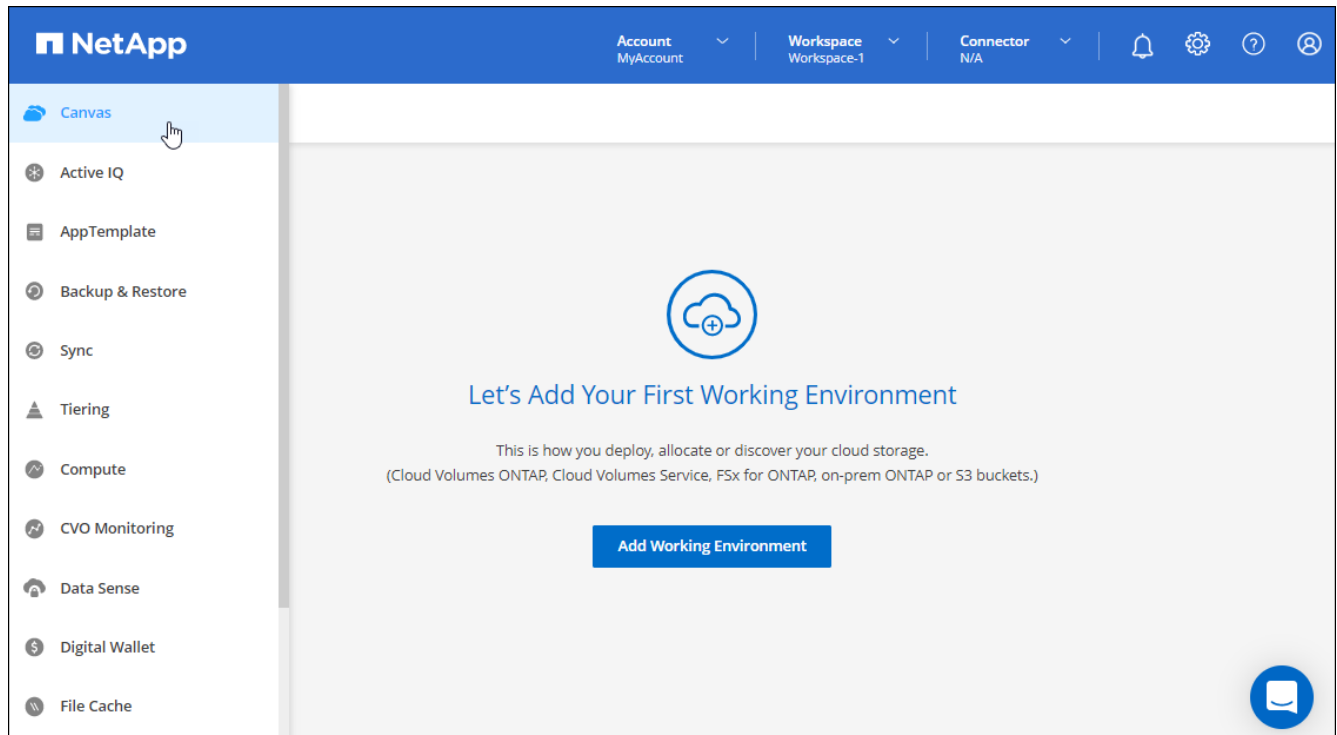
"次の例は、コネクタの作成に使用するAWS IAMロールの権限を示しています"。

また、各ポリシーへのリンクを提供するページも作成しました。"Cloud Managerの権限の概要を確認します"。

2022年7月3日

## コネクタ3.9.20

- 拡大する機能のリストへの新しいナビゲート方法が導入されました。左側のパネルにカーソルを合わせると、使い慣れたCloud Managerの機能を簡単に確認できます。



- Cloud ManagerからEメールで通知を送信するように設定できるようになりました。これにより、システムにログインしていないときでも重要なシステムアクティビティを通知できます。

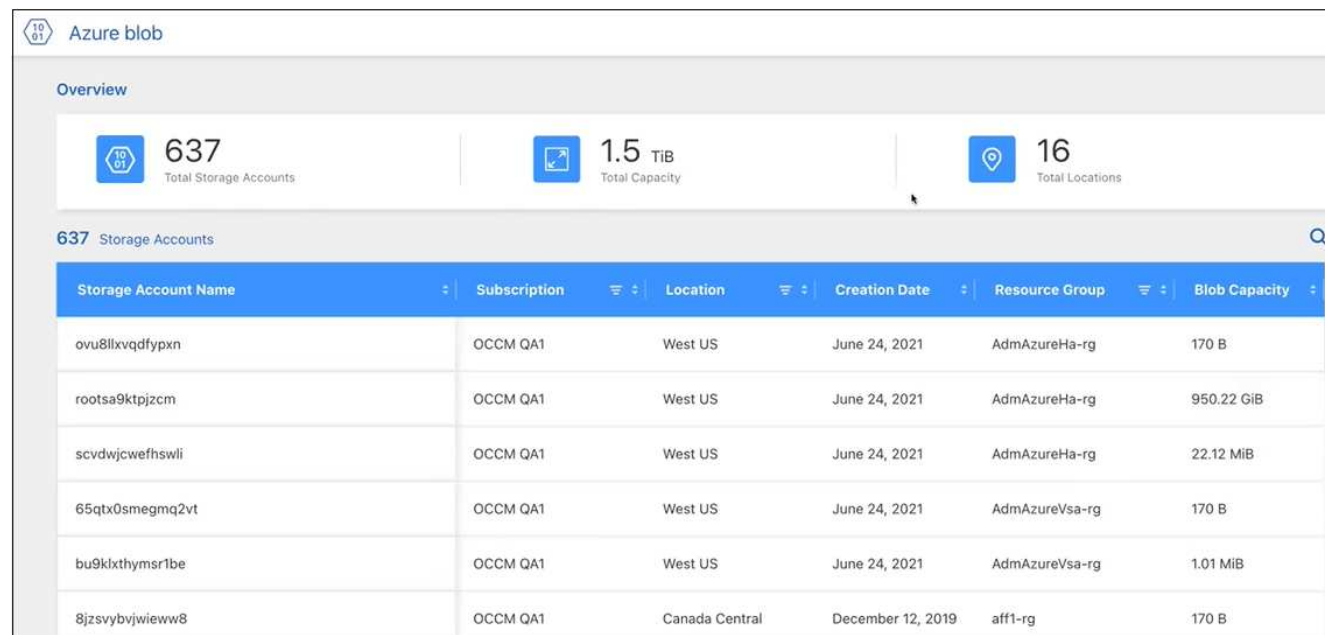
"アカウントでの操作の監視の詳細については、こちらをご覧ください"。

- Cloud Managerでは、Amazon S3のサポートと同様に、Azure Blob StorageとGoogle Cloud Storageが作業環境としてサポートされるようになりました。

AzureまたはGoogle Cloudにコネクタをインストールすると、Connectorがインストールされているプロジェクトで、AzureサブスクリプションまたはGoogle Cloud StorageのAzure Blob Storageに関する情報

がCloud Managerで自動的に検出されるようになりました。Cloud Managerにはオブジェクトストレージが作業環境として表示され、この環境を開いて詳細情報を確認することができます。

Azure Blob作業環境の例は次のとおりです。



Storage Account Name	Subscription	Location	Creation Date	Resource Group	Blob Capacity
ovu8llxvdfypxn	OCCM QA1	West US	June 24, 2021	AdmAzureHa-rg	170 B
rootsa9ktpjzcm	OCCM QA1	West US	June 24, 2021	AdmAzureHa-rg	950.22 GiB
scvdwjcwehswli	OCCM QA1	West US	June 24, 2021	AdmAzureHa-rg	22.12 MiB
65qtx0smegmq2vt	OCCM QA1	West US	June 24, 2021	AdmAzureVsa-rg	170 B
bu9kixthymr1be	OCCM QA1	West US	June 24, 2021	AdmAzureVsa-rg	1.01 MiB
8jzsvybvjiwieww8	OCCM QA1	Canada Central	December 12, 2019	aff1-rg	170 B

- 容量や暗号化の詳細など、S3バケットに関する詳細情報を提供することで、Amazon S3作業環境用のリソースページが再設計されました。
- Connectorは、次のGoogle Cloudリージョンでサポートされるようになりました。
  - マドリード（ヨーロッパ-南西部1）
  - パリ（ヨーロッパ-西9区）
  - ワルシャワ（ヨーロッパ中央部2）
- Azure West US 3リージョンでコネクタがサポートされるようになりました。

["サポートされているリージョンの完全なリストを表示します"](#)

- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張も含まれています。

["Cloud Volumes ONTAP の機能拡張について説明します"](#)

## 2022年6月28日

ネットアップのクレデンシャルでログインします

新規ユーザがCloud Centralに登録する際に、「ネットアップでログイン」オプションを選択して、NetApp Support Siteのクレデンシャルを使用してログインできるようになりました。Eメールアドレスとパスワードを入力する代わりに使用できます。



Eメールアドレスとパスワードを使用する既存のログインでは、このログイン方法を使用し続ける必要があります。ネットアップでログインするオプションは、新規ユーザがサインアップする際に使用できます。

**2022年6月7日**

### コネクタ3.9.19

- このコネクタは、AWSジャカルタリージョン（AP-Southee-3）でサポートされるようになりました。
- このコネクタは、Azureブラジル南東部でサポートされるようになりました。

["サポートされているリージョンの完全なリストを表示します"](#)

- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張とオンプレミスONTAP クラスタの機能拡張も含まれています。
  - ["Cloud Volumes ONTAP の機能拡張について説明します"](#)
  - ["ONTAP オンプレミスクラスタの機能拡張について説明します"](#)

**2022年5月12日**

### コネクタ3.9.18パッチ

コネクタを更新し、バグ修正を実施しました。最も注目すべき解決策は、問題 が共有VPC内にある場合にGoogle CloudでのCloud Volumes ONTAP の導入に影響するというものです。

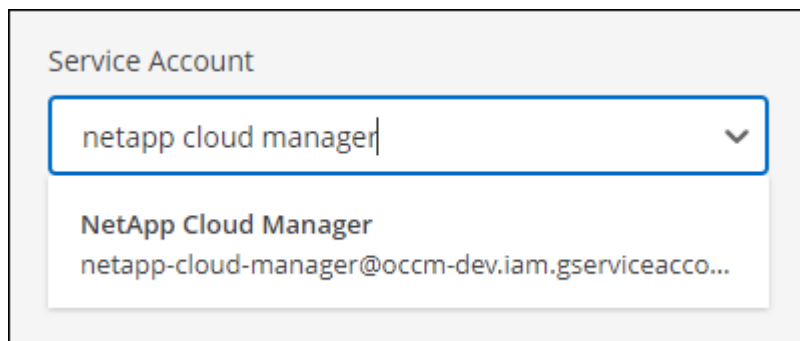
**2022年5月2日**

### コネクタ3.9.18

- Connectorは、次のGoogle Cloudリージョンでサポートされるようになりました。
  - デリー（アジア-サウス2）
  - メルボルン（オーストラリア-スモアカス2）
  - ミラノ（ヨーロッパ-西8）
  - サンティアゴ（サウスアメリカ-西1）

["サポートされているリージョンの完全なリストを表示します"](#)

- Connectorで使用するGoogle Cloudサービスアカウントを選択すると、Cloud Managerに各サービスアカウントに関連付けられているEメールアドレスが表示されるようになりました。メールアドレスを表示すると、同じ名前を共有するサービスアカウントを区別しやすくなります。



- をサポートするOSでVMインスタンス上のGoogle CloudのConnectorを認定しました ["シールドVM機能"](#)
- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張も含まれています。 ["これらの拡張機能について説明します"](#)
- ConnectorでCloud Volumes ONTAP を導入するには、新しいAWS権限が必要です。

単一のAvailability Zone（AZ；アベイラビリティゾーン）にHAペアを導入する際にAWS分散配置グループを作成するためには、次の権限が必要です。

```
"ec2:DescribePlacementGroups",
"iam:GetRolePolicy"
```

これらの権限は、Cloud Managerによる配置グループの作成方法を最適化するために必要になります。

Cloud Managerに追加したAWSクレデンシャルの各セットに、これらの権限を必ず付与してください。 ["コネクタの最新のIAMポリシーを確認します"](#)。

## 2022年4月3日

### コネクタ3.9.17

- Cloud Manager に、環境で設定した IAM ロールを割り当てることでコネクタを作成できるようになりました。この認証方式は、AWS のアクセスキーとシークレットキーを共有する場合よりも安全です。

["IAM ロールを使用してコネクタを作成する方法について説明します"](#)。

- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張も含まれています。 ["これらの拡張機能について説明します"](#)

## (2022年2月27日).

### コネクタ3.9.16

- Google Cloud で新しいコネクタを作成すると、Cloud Manager に既存のすべてのファイアウォールポリシーが表示されるようになります。以前は、Cloud Manager にはターゲットタグがないポリシーは表示されませんでした。
- このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張も含まれています。 ["これらの拡張機能について説明します"](#)

## (2022年1月30日).

### コネクタ3.9.15

このリリースのコネクタには、Cloud Volumes ONTAP の機能拡張が含まれています。 ["これらの拡張機能について説明します"](#)

2022年1月2日

コネクタのエンドポイントが減少しました

パブリッククラウド環境内でリソースやプロセスを管理するためにコネクタが接続する必要があるエンドポイントの数を削減しました。

"必要なエンドポイントのリストを表示します"

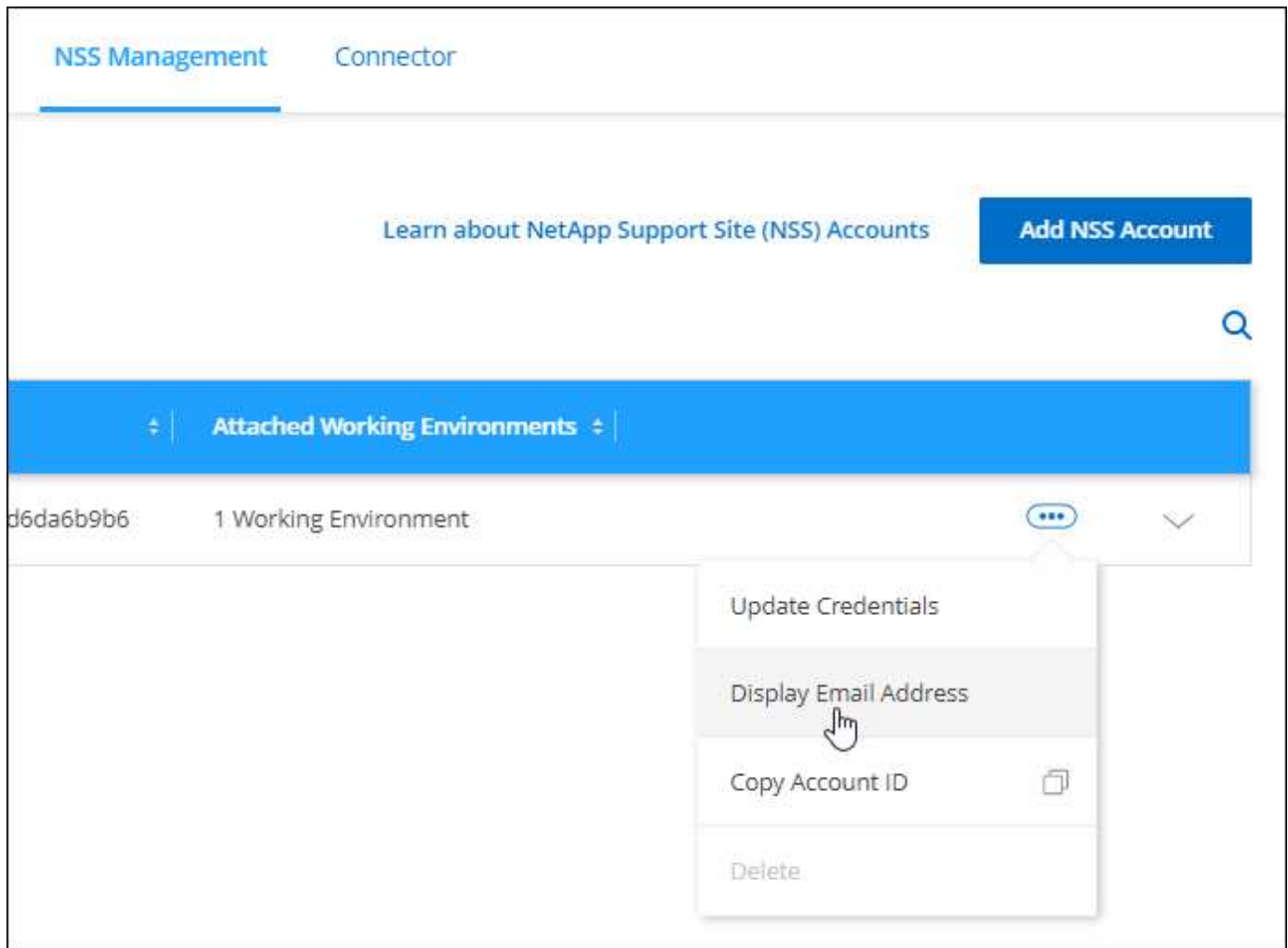
コネクタの **EBS** ディスク暗号化

Cloud Manager から AWS に新しいコネクタを導入する際に、デフォルトのマスターキーまたは管理対象キーを使用してコネクタの EBS ディスクを暗号化できるようになりました。

The screenshot displays the 'Details' configuration page for a connector instance in AWS Cloud Manager. At the top, a progress bar shows steps: Get Ready, AWS Credentials, Details (active), Network, Security Group, and Review. The 'Details' section includes a text input for 'Connector Instance Name' containing 'Connector1'. Below this is a link '+ Add Tags to Connector Instance'. To the right, the 'Connector Role' section has 'Create Role' selected. The 'Role Name' is 'Cloud-Manager-Operator-9yils3K'. The 'AWS Managed Encryption' toggle is turned on, indicated by a blue switch and a black arrow pointing to it. Below the toggle, the 'Master Key' is 'aws/ebs (default)' with a 'Change Key' link.

**NSS** アカウントの **E** メールアドレス

Cloud Manager に、NetApp Support Siteのアカウントに関連付けられている E メールアドレスが表示されるようになりました。



(2021年11月28日).

#### NetApp Support Siteのアカウントを更新する必要があります

2021 年 12 月以降、ネットアップは、サポートとライセンスに固有の認証サービスのアイデンティティプロバイダとして Microsoft Azure Active Directory を使用するようになりました。この更新によって、Cloud Manager は、以前に追加した既存のNetApp Support Siteのアカウントのクレデンシャルの更新を求めます。

NSS アカウントを IDaaS に移行していない場合は、まずアカウントを移行してから、Cloud Manager でクレデンシャルを更新する必要があります。

["ネットアップによるID管理にMicrosoft Azure Active Directoryを使用する方法の詳細"](#)

#### Cloud Volumes ONTAP の NSS アカウントを変更します

組織内に複数のNetApp Support Siteのアカウントがある場合、Cloud Volumes ONTAP システムに関連付けられているアカウントを変更できるようになりました。

["作業環境を別の NSS アカウントに接続する方法について説明します"](#)。

**(2021年11月4日).**

## **SOC 2 Type 2 認定**

独立機関の公認会計士であり、サービス監査役は、Cloud Manager、Cloud Sync、Cloud Tiering、Cloud Data Sense、Cloud Backup（Cloud Manager プラットフォーム）を調査し、該当する信頼サービス基準に基づいて SOC 2 Type 2 のレポートを達成したことを確認しました。

["ネットアップの SOC 2 レポートをご覧ください"](#)。

コネクタはプロキシとしてサポートされなくなりました

AutoSupport から Cloud Volumes ONTAP メッセージを送信するためのプロキシサーバとして Cloud Manager Connector を使用することはできなくなりました。この機能は削除され、サポートも終了しています。AutoSupport 接続は、NAT インスタンスまたは環境のプロキシサービスを介して提供する必要があります。

["Cloud Volumes ONTAP による AutoSupport の検証の詳細については、こちらをご覧ください"](#)

## **2021年10月31日閲覧**

サービスプリンシパルを使用した認証

Microsoft Azure で新しいコネクタを作成する際、Azure アカウントのクレデンシャルではなく Azure サービスプリンシパルで認証できるようになりました。

["Azure サービスプリンシパルでの認証方法について説明します"](#)。

クレデンシャルの機能拡張

クレデンシャルページのデザインを見直し、使いやすく、Cloud Manager のインターフェイスの外観に合わせて刷新しました。

## **2021年9月2日**

新しい通知サービスが追加されました

通知サービスが導入され、現在のログインセッションで開始した Cloud Manager の処理のステータスを表示できるようになりました。処理が成功したかどうか、または失敗したかどうかを確認できます。["アカウントの操作を監視する方法については、を参照してください"](#)。

## **2021 年 7 月 7 日**

コネクタの追加ウィザードの機能拡張

新しいオプションを追加して使いやすくするために、\* コネクタの追加 \* ウィザードを再設計しました。タグの追加、ロール（AWS または Azure）の指定、プロキシサーバのルート証明書のアップロード、Terraform Automation のコードの表示、進捗状況の詳細の表示などが可能になりました。

- ["AWS でコネクタを作成します"](#)



- ["Azure でコネクタを作成します"](#)
- ["Google Cloud でコネクタを作成します"](#)

**NSS** アカウントの管理をサポートダッシュボードから行うこともできます

NetApp Support Site（NSS）アカウントは、設定メニューではなくサポートダッシュボードで管理できるようになりました。この変更により、すべてのサポート関連情報を 1 箇所から簡単に検索して管理できるようになります。

["NSS アカウントを管理する方法について説明します"](#)。

The screenshot shows the 'NSS Management' tab in the 'Support Dashboard'. It features a table with the following data:

NSS User Name	NSS User ID	Attached Working Environments
testcloud2	61e6b48b-371e-4681-a...	—

**2021 年 5 月 5 日**

タイムラインのアカウント

Cloud Manager のタイムラインに、アカウント管理に関連する操作とイベントが表示されるようになりました。アクションには、ユーザーの関連付け、ワークスペースの作成、コネクタの作成などがあります。タイムラインのチェックは、特定のアクションを実行したユーザーを特定する必要がある場合や、アクションのステータスを特定する必要がある場合に役立ちます。

["タイムラインをテナンシーサービスにフィルタリングする方法について説明します"](#)。

**(2021年4月11日).**

**Cloud Manager** に直接 **API** で呼び出します

プロキシサーバを設定している場合、プロキシを経由せずに Cloud Manager に API 呼び出しを直接送信するオプションを有効にできるようになりました。このオプションは、AWS または Google Cloud で実行されているコネクタでサポートされます。

["この設定の詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

サービスアカウントユーザ

サービスアカウントユーザを作成できるようになりました。

サービスアカウントは「ユーザ」の役割を果たし、Cloud Manager に対して自動化のための許可された API

呼び出しを実行できます。これにより、自動化スクリプトを作成する必要がなくなります。自動化スクリプトは、会社を離れることができる実際のユーザアカウントに基づいて作成する必要がなくなります。フェデレーションを使用している場合は、クラウドから更新トークンを生成することなくトークンを作成できます。

["サービスアカウントの使用方法的詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

## プライベートプレビュー

アカウントのプライベートプレビューで、新しい NetApp クラウドサービスが Cloud Manager のプレビューとして利用できるようになりました。

["このオプションの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

## サードパーティのサービス

また、アカウント内のサードパーティサービスが Cloud Manager で使用可能なサードパーティサービスにアクセスできるようにすることもできます。

["このオプションの詳細については、こちらをご覧ください"](#)。

## 2021年3月8日

このアップデートには、いくつかの機能とサービスの機能強化が含まれています。

### Cloud Volumes ONTAP の機能拡張

このリリースの Cloud Manager では、Cloud Volumes ONTAP の管理が強化されています。

すべてのクラウドプロバイダで利用できる機能強化

Cloud Volumes ONTAP 9.9.9..0 を導入および管理できるようになりました。

["このリリースのに含まれる新機能について説明します Cloud Volumes ONTAP"](#)。

### AWS で利用できる機能拡張

- クラウドサービス 9.8 を AWS Commercial Cloud Volumes ONTAP （ C2S ） 環境に導入できるようになりました。

["C2S の使用を開始する方法をご確認ください"](#)

- Cloud Manager では、AWS Key Management Service （ KMS ） を使用して Cloud Volumes ONTAP データを暗号化できるようになりました。Cloud Volumes ONTAP 9.9.9..0 以降では、お客様が管理する CMK を選択すると、EBS ディスク上のデータと S3 に階層化されたデータが暗号化されます。これまでは、EBS データだけが暗号化されていました。

Cloud Volumes ONTAP IAM ロールに CMK を使用するためのアクセス権を付与する必要があります。

["Cloud で AWS KMS を設定する方法については、こちらをご覧ください Volume ONTAP の略"](#)

## Azure で利用できる機能拡張

Cloud Volumes ONTAP 9.8 を、国防総省（DoD）の影響レベル 6（IL6）に導入できるようになりました。

## Google Cloud で利用可能な機能強化

- Google Cloud で Cloud Volumes ONTAP 9.8 以降に必要な IP アドレスの数が削減されました。デフォルトでは、IP アドレスを 1 つ減らす必要があります（インタークラスタ LIF をノード管理 LIF と統合しました）。また、API を使用する場合は SVM 管理 LIF の作成を省略でき、追加の IP アドレスが不要になります。

["Google Cloud の IP アドレス要件の詳細については、こちらをご覧ください"](#)

- Google Cloud で Cloud Volumes ONTAP HA ペアを導入する際に、VPC -1、VPC -2、および VPC -3 の共有 VPC を選択できるようになりました。以前は、VPC を共有できるのは VPC のみでした。この変更は Cloud Volumes ONTAP 9.8 以降でサポートされています。

["Google Cloud のネットワーク要件の詳細については、こちらをご覧ください"](#)

## コネクタの機能拡張

- Connector が実行されていない場合に、Cloud Manager から管理者ユーザに E メールで通知されるようになりました。

コネクタを常時稼働させておくと、Cloud Volumes ONTAP やその他の NetApp クラウドサービスを最大限に管理するのに役立ちます。

- コネクタのインスタンスタイプを変更する必要がある場合に、Cloud Manager に通知が表示されるようになりました。

インスタンスタイプを変更することで、現在利用できない新しい機能を確実に使用できます。

## Cloud Sync の機能拡張

- Cloud Sync で ONTAP S3 ストレージと SMB サーバの同期関係がサポートされるようになりました。
  - ONTAP S3 ストレージから SMB サーバへの移動
  - SMB サーバから ONTAP S3 ストレージ

["サポートされている同期関係を表示する"](#)

- Cloud Sync では、ユーザインターフェイスからデータブローカーグループの設定を直接統合できるようになりました。

自分で設定を変更することはお勧めしません。設定を変更するタイミングと変更方法については、ネットアップに相談してください。

["ユニファイド構成の定義に関する詳細は、こちらをご覧ください"](#)

## Cloud Tiering の機能拡張

- Google Cloud Storage に階層化する場合は、ライフサイクルルールを適用して、階層化されたデータを Standard ストレージクラスから 30 日後に低コストの Nearline、Coldline、または Archive ストレージに移行することができます。
- Cloud Tiering Now は、オンプレミスの ONTAP クラスタで検出されていないものがある場合に表示されます。これにより、クラスタへの階層化やその他のサービスを有効にすることができます。

["これらのクラスタの詳細については、こちらをご覧ください"](#)

## Azure NetApp Files の機能拡張

ワークロードのニーズを満たし、コストを最適化するために、ボリュームのサービスレベルを動的に変更できるようになりました。ボリュームは、ボリュームに影響を及ぼすことなく、もう一方の容量プールに移動されます。"詳細はこちら。"

(2021年2月9日).

### サポートダッシュボードの強化

サポートダッシュボードが更新され、NetApp Support Siteのクレデンシャルを追加できるようになりました。このクレデンシャルをサポートに登録してください。ネットアップサポートケースは、ダッシュボードから直接開始することもできます。[ヘルプ] アイコンをクリックして、[Support] をクリックします。

## 既知の制限

既知の制限事項は、このリリースの製品でサポートされていないプラットフォーム、デバイス、機能、または製品と正しく相互運用できない機能を特定します。これらの制限事項を慎重に確認してください

これらの制限は、BlueXPのセットアップと管理に特有のものです。コネクタ、SaaSプラットフォームなどです。

### コネクタの制限

透過プロキシサーバはサポートされない

BlueXPでは、コネクタを備えた透過的プロキシサーバはサポートされていません。

["コネクタでプロキシサーバを使用する方法の詳細"](#)。

### 172 の範囲の IP アドレスと競合する可能性があります

BlueXPは、172.17.0.0/16と172.18.0.0/16の範囲にIPアドレスを持つ2つのインターフェイスを持つコネクタを展開します。

ネットワークにこれらのいずれかの範囲が設定されたサブネットがある場合、BlueXPから接続エラーが発生する可能性があります。たとえば、BlueXPでオンプレミスのONTAP クラスタを検出できない場合があります。

技術情報アートを参照してください ["BlueXP ConnectorのIPが既存のネットワークと競合しています"](#)  
コネクタのインターフェイスのIPアドレスを変更する方法については、[を参照してください](#)。

### SSL復号化はサポートされていません

BlueXPでは、SSL復号化が有効になっているファイアウォール構成はサポートされていません。SSL復号化が有効になっている場合、BlueXPにエラーメッセージが表示され、コネクタインスタンスが非アクティブとして表示されます。

セキュリティを強化するには、を選択します ["認証局（CA）が署名した HTTPS 証明書をインストールする"](#)。

### ローカル UI のロード時に空白ページが表示される

コネクタで実行されているWebベースのコンソールをロードすると、インターフェイスが表示されず、空白のページが表示されることがあります。

この問題は、キャッシュの問題に関連しています。回避策では、incognito モードまたはプライベート Web ブラウザセッションを使用します。

### 共有 Linux ホストはサポートされません

コネクタは、他のアプリケーションと共有されている VM ではサポートされません。VM は、コネクタソフトウェア専用にする必要があります。

### サードパーティのエージェントと内線番号

Connector VM では、サードパーティのエージェントや VM 拡張機能はサポートされません。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。